

# 第 1 編

## 基 本 方 針

1 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン	4
(1) 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン <ビジョン編>	4
(2) 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン <戦略編>	4
2 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023	4
3 札幌市多文化共生・国際交流基本方針	5
(1) 策定の目的	5
(2) 目指す姿	5
(3) 目指す姿の実現に向けた5つの目標	6

## 1 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン

### (1) 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン <ビジョン編>

市民、企業、行政などの多様な主体が札幌市の目指すべきまちの姿などを共有し、次の新たな100年となる今後10年のまちづくりの基本的な指針として、2022年（令和4年）に「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」（以下「第2次ビジョン」という。）を策定した。

「第2次ビジョン」の「ビジョン編」では、札幌市の魅力・特徴、第1次戦略ビジョンに基づくまちづくりの取組結果などを基に、札幌市の現在と将来に関する考察を行うとともに、この考察を踏まえ、札幌市の将来のまちの姿である「目指すべき都市像」やこの都市像の実現に向けた「まちづくりの基本目標」（政策の基本的な方向性）を定める。

### (2) 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン <戦略編>

「第2次ビジョン」の「戦略編」では、「ユニバーサル（共生）」、「ウェルネス（健康）」、「スマート（快適・先端）」を3つの「まちづくりの重要概念」として捉え、分野をまたがる課題を整理し、分野横断的に取り組む施策を示している。

(参照) 札幌市まちづくり政策局政策企画部. “第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン”. 札幌市公式HP  
<https://www.city.sapporo.jp/kikaku/vision/vision2/>

## 2 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023

「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023」は、前計画の「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」に引き続き、上位計画「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を実現するための中期実施計画として、第2次戦略ビジョンとともに総合計画に位置付けられ、札幌市の行財政運営や予算編成の指針となるものである。

計画期間は、2023年度（令和5年度）から2027年度（令和9年度）までの5年間。

(参照) 札幌市まちづくり政策局政策企画部. “第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン”. 札幌市公式HP  
<https://www.city.sapporo.jp/chosei/actionplan2023.html>

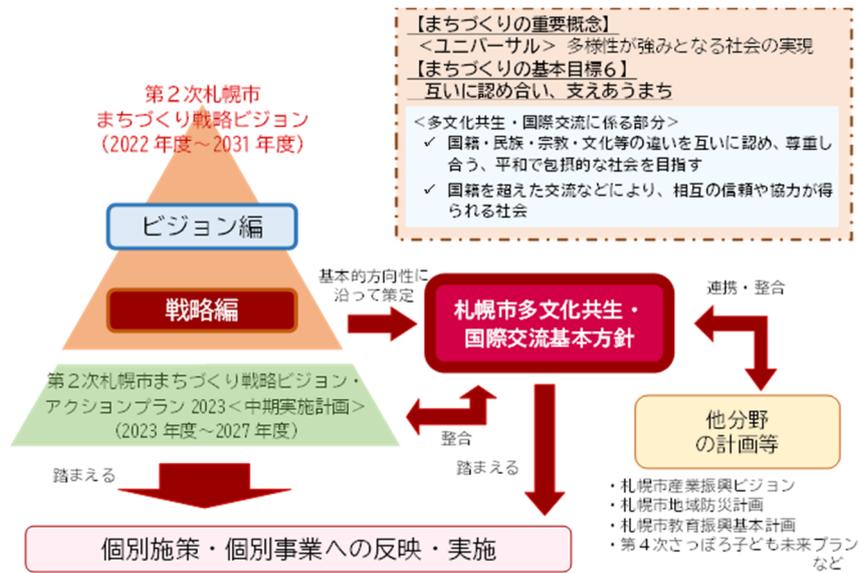
### 3 札幌市多文化共生・国際交流基本方針 ～世界中の多様な人々とともに生きる都市さっぽろ～

#### (1) 策定の目的

我が国では、少子高齢化や生産年齢人口の減少、それに伴う人手不足などの課題に対応するため、新たな在留資格「特定技能」を創設し、外国人材の適正な受け入れ・共生のための取組を推進している。

札幌市においても、近年外国人市民数は一貫して増加傾向にあり、今後も国の労働政策やグリーン・トランスフォーメーション（GX）等の投資活性化などを背景に更なる増加が見込まれることから、外国人市民も不便や不安を感じることなく、日本人市民と同じように安心して暮らすことのできる環境をつくっていくことが重要である。

そこで、行政、企業、市民活動団体などさまざまな主体が「多文化共生社会」を実現していくにあたり、目指す姿及び実現に向けた取組の方向性を共有し、今後 10 年間、ともに行動していくための基本的な考え方を示すものとして、「札幌市多文化共生・国際交流基本方針」（2023 年度（令和 5 年度）～2032 年度（令和 14 年度））を策定した。



#### (2) 目指す姿

世界中の多様な人々とともに生きる都市さっぽろ

基本方針においては、札幌市が世界中の様々な国や地域の人々を惹きつけ、国籍・民族・言語・文化的背景などが異なる人々が集うとともに、多様な価値観が共存することによって今までになかった新たな価値が生み出されている都市を目指すこととした。そして、それぞれの個人が持つ多様な価値観が強みとなり、また個人の能力が十分に発揮され、日本人、外国人が共に札幌市民として活力にあふれ、充実した暮らしを送ることができる都市を目指していく。

(3) 目指す姿の実現に向けた5つの目標

目標1 だれもがつながり伝えあえるまち <コミュニケーション支援>

相談体制の整備やことばのサポートなどを通じて、外国人市民が抱える日常生活における不便や不安の解消に取り組む。

(施策の方向性)

- 1 相談体制の整備、行政・生活情報の多言語化
- 2 日本語教育の推進

目標2 みんなが安心してくらせるまち <生活支援>

医療、子育て、福祉、災害など、特に日常生活に密接に関わる分野において、ライフステージに合わせた「生活支援」の取組を推進していく。

(施策の方向性)

- 1 多方面の生活支援
- 2 教育機会の確保
- 3 災害時の支援体制の整備

目標3 お互いをみとめあい、みんなが支えあうまち <意識啓発・社会参画>

「多文化共生意識の啓発」を通じて地域における意識情勢を図るとともに、「外国人市民の社会参画」を促進し、多様な価値観が活かされるまちを目指す。

(施策の方向性)

- 1 多文化共生の意識啓発・醸成
- 2 外国人市民の社会参画促進

目標4 世界とともに生きるまち <国際交流・国際協力>

さまざまな都市と幅広い分野における交流を通じて友好・親善関係を進めていくことに加え、国際社会の一員として地球規模の課題の解決に取り組んでいく。

(施策の方向性)

- 1 姉妹・友好都市をはじめとする国際交流の推進
- 2 世界冬の都市市長会の活用
- 3 国際協力への理解促進

目標5 みんながともに歩むまち <推進体制の整備>

市役所の組織横断的な体制により対応していくほか、札幌国際プラザ、市民活動団体、行政機関、企業、教育機関など様々な主体と協働していく。

(施策の方向性)

- 1 市役所の組織横断的な協働体制の構築
- 2 札幌国際プラザと一体となった施策推進体制の構築
- 3 市民活動団体等との連携
- 4 行政・関係機関、企業、大学等との連携